



モンスターブック
A・E・ヴァン・ヴォークト (中田耕治編)
河出書房新社 (文庫)
(3/4刊・¥500)

ヴォークトの短篇集である。『宇宙嵐のか
なた』や『宇宙船ビーグル号の冒険』の一部
を含めた、合計六篇が収録されている。主に
怪物が出てくる短篇を集めたもの。とはいえ、
言葉のイメージから感じるほども、「怪物」
が頻出するわけではない。主に、四〇年代に
書かれた作品が多く、物語の組み立ては当時
の流行に即している。したがって、異なる価
値観を持つ、陣営同士の対立を描いた、「最
後の指令」辺りの、社会描写の貧困さ（ブリ
ミティブさ）は否めない。ビーグル号にして
も、あらためて読むと同様である。その点、
純粋にヴォークトの創造力だけで作られた
「永遠の村」は、まだそれほど古びておらず、
集中のベストといえる。

ところで、本書は、日本でオリジナルに編
まれたかのように記されているが、アッカー
マン編『モンスターズ』という底本が、実は
ちゃんとある（表題からして、いかにもアッ
カーマン趣味でしょう）。そこから、二篇を
除いただけで、あとはそっくりそのまま、同
じなのである。たとえ抄訳とはいえ、一言も
触れられていないのは、ちょっと問題ではな
いだろうか。